



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 19 年 2 月 14 日

上場会社名 東武鉄道株式会社

(コード番号:9001 東証第 1 部)

(URL <http://www.tobu.co.jp/>)

代 表 者 取締役社長 根津 嘉澄

問合せ先責任者 経理部主計担当課長 杉山 知也

TEL:(03)3621-5145

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
 当連結会計年度より、「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。
 ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規)3社(除外)2社 持分法(新規)0社(除外)0社

新東京タワー(株)、(株)東武エネルギーマネジメント、仙台国際ホテル(株)を新たに連結の範囲に含めております。なお、日光国立公園観光(株)、(株)銀座むらきは会社清算に伴い、連結の範囲から除外しました。

東武ビル管理(株)は商号を東武ビルマネジメント(株)に変更いたしました。また、東洋浄化産業(株)は商号を(株)TOYOに変更いたしました。

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	479,426	△0.3	35,940	△0.1	29,040	△10.9	12,088	△48.1
18年3月期第3四半期	480,958	2.8	35,983	36.2	32,590	89.6	23,281	133.0
(参考)18年3月期	646,361		47,707		41,294		26,873	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	14.11		13.50	
18年3月期第3四半期	27.16		27.16	
(参考)18年3月期	31.33		31.33	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

(運輸事業)

鉄道業では、施設・設備面において伊勢崎線太田駅付近高架化工事、全線にわたる踏切支障報知装置の設置等を引き続き進めたほか、駅エレベーター・多機能トイレ等のバリアフリー化工事を計画的に推進しております。また、本年3月に予定している首都圏の鉄道、バスで共通利用が可能なPASMO(ICカード乗車券)の導入に向けた施設整備を引き続き推進しております。営業面においては、昨年3月18日に開始した、東日本旅客鉄道(株)とのJR新宿駅～東武日光・鬼怒川温泉駅間の特急列車相互直通運転を活用した積極的なPR効果によって、各種企画乗車券及び特急列車のご利用が好調に推移しております。また、昨年11月19日に南栗橋工場で開催した「東武ファンフェスタ」では、会場までの臨時直通列車の運転、南栗橋工場の見学、車両撮影会等を行ったほか、昨年12月23日に開催した「東上線クリスマスイベント」では、臨時列車の運転、森林公園検修区での各種イベント等を実施し、大変多くのお客様にご来場いただきました。

バス・タクシー業では、東武バスウエスト(株)において昨年3月31日より、東武バス時刻表検索サービスに加え、川越・坂戸地区での携帯電話およびパソコンからバス現在位置が確認できるサービスを導入いたしました。また、昨年7月20日より坂戸駅南口・川越駅西口～成田空港間の高速バスの運行を開始いたしました。東北急行バス(株)においては、昨年4月21日より東京～新庄線の夜行高速バス「TOKYOサンライズ」号の山形新幹線「さくらんぼ東根駅前」への乗り入れを開始いたしました。また、東武バスセントラル(株)において、昨年7月25日より新越谷駅西口～郡山駅前間の高速バス「あだたら号」、昨年12月11日より北千住駅～久喜駅東口間の深夜急行バス「ミッドナイトアロー久喜」の運行を開始するなど、お客様の利便性向上に

努め、増収を図りました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は 162,538 百万円、営業利益は 25,022 百万円となりました。

(レジャー事業)

スポーツ業では、(株)東武スポーツが昨年 12 月 16 日に、新越谷駅前に「東武スポーツクラブ リ・プレオン 新越谷」をオープンいたしました。マシンジムやプールのほか岩盤浴を加えた充実した設備と豊富なプログラムを取り揃えて、お客様からご好評をいただいております。また、林友観光(株)では昨年 10 月 25 日に、蔵王アストリアホテルに蔵王の美しい眺望が楽しめる源泉かけ流しの温泉「絶景 露天の湯」をオープンいたしました。露天と内湯があり、美肌効果だけでなく、ダイナミックな朝日連峰のパノラマもお楽しみいただけます。

旅行業では、東武トラベル(株)が昨年 11 月 22 日に、千葉県柏市の大規模ショッピングセンター「ららぽーと柏の葉」の 3 階に「ららぽーと柏の葉支店」をオープンし、お客様へ旅行プランをご提供しております。

遊園地・観光業では、松島ベイクルーズ(株)が、お客様にやさしいバリアフリー設計の観光船「べがさず」を新造し、昨年 11 月 11 日に就航いたしました。「日本三景・松島」にお越しになるお客様に快適な空間をご提供しております。

以上の結果、レジャー事業の営業収益は 66,923 百万円、営業利益は 737 百万円となりました。

(不動産事業)

賃貸業では、当社において新規物件として、吉川栄町店舗、新越谷高架下北ビルが完成したほか、西新井駅橋上店舗(ペアロード)、東武アネックスビル、川越市駅前ビル、野田市駅前ビル、霞ヶ関駅ビル等のテナント入れ替えを行い増収に努めました。

分譲業では、当社において川口市並木元町(リボンシティレジデンス)・町田市南大谷(ユニヴェルシオール学園の丘)でマンションを販売したほか、建売住宅では、滑川(フランサ)・南栗橋(ルティアス)、土地では、滑川・土浦等の販売をいたしました。なお、引き続き、江東区豊洲(スターコート豊洲)・松戸市常盤平(モードヴィスタ常盤平)・富士見市勝瀬(プリズムコートふじみ野)等でマンション、滑川(フランサ)・南栗橋(ルティアス)等で建売住宅の販売を行っております。東武不動産(株)では、柏市若柴で(ヴィスタガーデン柏の葉キャンパス)でマンションの販売をしたほか、川口市赤山(ヴィスタマークス川口新井宿)、さいたま市北区(ヴィスタグレード宮原)でマンションの販売を開始しました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は 45,705 百万円、営業利益は 4,467 百万円となりました。

(流通事業)

流通事業では、(株)東武百貨店池袋本店において、昨年 11 月に外商のお得意様専用の「ロイヤルサロン」を拡大しオープンしたほか、「ギフトサロン」を新設し、お客様へのサービス向上を図りました。また、「特選和菓子売場」をリニューアルしたほか、お歳暮ギフト「早期ご優待会」を実施し増収に努めました。(株)東武宇都宮百貨店では、宇都宮店が開催した「北海道物産展」において過去最高の売上を記録いたしました。また、(株)東武カードビジネスでは、東武鉄道が直営する駅ビル(ショッピングセンター)5 施設において、東武グループポイントサービスを開始し、お客様の利便性向上と顧客の獲得に努めました。

以上の結果、流通事業の営業収益は 182,123 百万円、営業利益は 3,622 百万円となりました。

(その他事業)

建設業では、東武建設(株)において、受注した鹿沼市のマンション新築工事、日光市内の温泉ホテル 2 軒のリニューアル工事、館山市内のレストラン改修工事が完成したほか、共同企業体による宇都宮市内の地方自治体行政ビル新築工事を進めております。

その他業では、東武緑地(株)において、都内の大学法人より大学構内の緑地等の整備工事や省庁より新宿御苑の園地整備工事、東京都内のゴルフ場の改修工事を受注し増収に努めました。

以上の結果、その他事業の営業収益は 55,076 百万円、営業利益は 2,421 百万円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	1,486,864	159,410	10.4	179.87
18年3月期第3四半期	1,536,109	147,653	9.6	172.28
(参考)18年3月期	1,556,146	158,199	10.2	184.59

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は1,486,864百万円、負債は1,327,454百万円となり、前連結会計年度と比較してそれぞれ69,282百万円、65,362百万円の減少となりました。また、純資産は四半期純利益を計上したものの、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により159,410百万円となりました。

[参考]

1. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	653,000	36,500	41,500

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 48円44銭

2. 平成19年3月期の個別業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	238,000	24,300	33,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 38円52銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点での業績予想につきましては、当社において、輸送人員が予想を上回る見込であることによる鉄道収入の増加および大規模な土地分譲の実施による分譲収入の増加が見込まれること、また今年度における工事竣工時期の変更による減価償却費の減少が見込まれることから、前回発表時(平成18年11月15日)から連結・個別とも売上高および経常利益について上方修正しております。

一方、固定資産売却益の減少や減損損失の増加等により、連結・個別とも当期純利益については変更しておりません。

※上記の予想は、発表日現在で得られた情報に基づいて算定しております。従って、業況の変化などにより実際の業績と記載の予想とは異なる場合があります。

○添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表・(要約)四半期連結損益計算書・セグメント情報

(要約)四半期個別貸借対照表・(要約)四半期個別損益計算書・鉄道旅客収入及び旅客人員表

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期 (平成18年12月31日現在)	前 四 半 期 (平成17年12月31日現在)	前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	前連結会計年度 増 減
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	183,472	197,380	192,279	△8,807
現 金 及 び 預 金	23,343	24,927	28,931	△5,587
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	35,784	38,789	34,324	1,459
た な 卸 資 産	79,888	89,912	87,408	△7,519
そ の 他 流 動 資 産	44,456	43,752	41,615	2,840
固 定 資 産	1,303,391	1,338,726	1,363,865	△60,473
有 形 固 定 資 産	1,107,879	1,124,548	1,136,034	△28,155
無 形 固 定 資 産	10,449	9,687	9,566	882
投 資 そ の 他 の 資 産	185,063	204,489	218,264	△33,201
繰 延 資 産	0	2	1	△1
開 発 費	0	2	1	△1
資 産 合 計	1,486,864	1,536,109	1,556,146	△69,282
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	395,104	404,725	406,131	△11,026
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	36,121	36,561	33,265	2,855
短 期 借 入 金	189,281	177,729	151,053	38,228
一 年 内 償 還 社 債 金	29,250	29,600	39,800	△10,550
前 受 金	53,706	58,886	54,128	△421
そ の 他 流 動 負 債	86,745	101,947	127,884	△41,139
固 定 負 債	898,231	937,556	947,289	△49,057
社 債 金	171,490	135,950	140,950	30,540
長 期 借 入 金	469,463	525,565	532,195	△62,731
鉄 道 ・ 運 輸 機 構 長 期 未 払 金	92,672	100,465	96,647	△3,975
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	66,974	54,213	53,118	13,855
そ の 他 固 定 負 債	97,632	121,361	124,377	△26,745
特 別 法 上 の 準 備 金	34,117	41,154	39,395	△5,278
特 定 都 市 鉄 道 整 備 準 備 金	34,117	41,154	39,395	△5,278
負 債 合 計	1,327,454	1,383,436	1,392,816	△65,362
(少 数 株 主 持 分)				
少 数 株 主 持 分	—	5,019	5,130	△5,130
(資 本 の 部)				
資 本 金	—	66,166	66,166	△66,166
資 本 剰 余 金	—	34,395	34,399	△34,399
利 益 剰 余 金	—	△2,372	2,077	△2,077
土 地 再 評 価 差 額 金	—	4,724	3,156	△3,156
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	—	45,386	53,116	△53,116
自 己 株 式	—	△646	△718	718
資 本 合 計	—	147,653	158,199	△158,199
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	—	1,536,109	1,556,146	△1,556,146
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	85,403	—	—	85,403
資 本 金	66,166	—	—	66,166
資 本 剰 余 金	34,414	—	—	34,414
利 益 剰 余 金	△14,255	—	—	△14,255
自 己 株 式	△921	—	—	△921
評 価 ・ 換 算 差 額 等	68,678	—	—	68,678
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	40,638	—	—	40,638
土 地 再 評 価 差 額 金	28,040	—	—	28,040
少 数 株 主 持 分	5,327	—	—	5,327
純 資 産 合 計	159,410	—	—	159,410
負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,486,864	—	—	1,486,864

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期	前 四 半 期	増 減	前連結会計年度
	自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	自平成17年4月1日 至平成17年12月31日		自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
営業収益	479,426	480,958	△1,532	646,361
営業費				
運輸業等営業費及び売上原価	344,082	343,287	795	464,288
販売費及び一般管理費	99,402	101,687	△2,284	134,365
営業費合計	443,485	444,975	△1,489	598,654
営業利益	35,940	35,983	△42	47,707
営業外収益				
受取利息	118	175	△57	166
受取配当金	6,186	6,136	49	6,211
少額工事負担金等受入額	270	2,518	△2,248	3,283
その他	1,919	2,631	△711	3,811
営業外収益合計	8,494	11,462	△2,967	13,472
営業外費用				
支払利息	14,096	14,477	△381	19,200
その他	1,298	376	921	684
営業外費用合計	15,394	14,854	540	19,885
経常利益	29,040	32,590	△3,550	41,294
特別利益				
固定資産売却益	468	17,041	△16,572	17,232
工事負担金等受入額	2,682	1,480	1,201	3,471
特定都市鉄道整備準備金取崩額	5,278	5,278	—	7,037
貸倒引当金戻入額	62	3,457	△3,395	3,511
その他	2,342	1,976	365	4,145
特別利益合計	10,834	29,234	△18,400	35,398
特別損失				
固定資産圧縮損	2,825	1,479	1,345	3,503
減損損失	5,871	14,981	△9,109	15,010
たな卸資産評価損	5,947	—	5,947	—
その他	4,297	6,066	△1,769	9,879
特別損失合計	18,941	22,527	△3,586	28,393
税金等調整前四半期(当期)純利益	20,933	39,297	△18,364	48,300
法人税、住民税及び事業税	10,470	21,422	△10,951	23,835
過年度法人税等	364	—	364	—
法人税等調整額	△2,228	△5,477	3,249	△2,560
計	8,606	15,944	△7,338	21,274
少数株主利益	238	71	167	152
四半期(当期)純利益	12,088	23,281	△11,193	26,873

3. セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不 動 産 事 業	流 通 業 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	159,769	63,561	36,807	180,614	38,673	479,426	—	479,426
(2)セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,768	3,361	8,897	1,509	16,403	32,940	(32,940)	—
計	162,538	66,923	45,705	182,123	55,076	512,367	(32,940)	479,426
営業費用	137,515	66,186	41,237	178,501	52,654	476,095	(32,610)	443,485
営業損益	25,022	737	4,467	3,622	2,421	36,271	(330)	35,940

前第3四半期連結会計期間(平成17年4月1日～平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不 動 産 事 業	流 通 業 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	157,949	63,654	37,269	183,624	38,461	480,958	—	480,958
(2)セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,798	2,969	8,745	1,587	17,217	33,318	(33,318)	—
計	160,748	66,623	46,014	185,212	55,678	514,276	(33,318)	480,958
営業費用	136,986	66,063	38,490	182,440	53,567	477,549	(32,574)	444,975
営業損益	23,761	559	7,523	2,771	2,110	36,727	(743)	35,983

前連結会計年度(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	運 輸 事 業	レジャー 事 業	不 動 産 事 業	流 通 業 事 業	そ の 他 事 業	計	消 去 又は全社	連 結
営業収益及び営業損益								
営業収益								
(1)外部顧客に対する営業収益	208,523	84,791	53,958	251,144	47,943	646,361	—	646,361
(2)セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,746	3,983	12,006	2,084	28,090	49,912	(49,912)	—
計	212,269	88,775	65,965	253,229	76,033	696,274	(49,912)	646,361
営業費用	183,731	87,453	55,486	247,991	72,527	647,190	(48,536)	598,654
営業損益	28,538	1,322	10,478	5,237	3,506	49,083	(1,375)	47,707

4. (要約)四半期個別貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期 (平成18年12月31日現在)	前 四 半 期 (平成17年12月31日現在)	前 期 (平成18年3月31日現在)	前 期 末 増 減
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	99,233	113,211	112,968	△13,734
固 定 資 産	1,223,102	1,241,647	1,264,872	△41,769
資 産 合 計	1,322,336	1,354,859	1,377,840	△55,504
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	314,683	301,150	317,535	△2,851
固 定 負 債	819,818	857,546	861,169	△41,351
特 別 法 上 の 準 備 金	34,117	41,154	39,395	△5,278
負 債 合 計	1,168,619	1,199,851	1,218,100	△49,481
(資 本 の 部)				
資 本 金	—	66,166	66,166	△66,166
資 本 剰 余 金	—	34,395	34,399	△34,399
利 益 剰 余 金	—	9,940	11,333	△11,333
土 地 再 評 価 差 額 金	—	6,344	4,704	△4,704
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	—	38,806	43,854	△43,854
自 己 株 式	—	△646	△718	718
資 本 合 計	—	155,007	159,740	△159,740
負 債 及 び 資 本 合 計	—	1,354,859	1,377,840	△1,377,840
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	90,469	—	—	90,469
資 本 金	66,166	—	—	66,166
資 本 剰 余 金	34,414	—	—	34,414
利 益 剰 余 金	△9,189	—	—	△9,189
自 己 株 式	△921	—	—	△921
評 価 ・ 換 算 差 額 等	63,247	—	—	63,247
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	33,613	—	—	33,613
土 地 再 評 価 差 額 金	29,634	—	—	29,634
純 資 産 合 計	153,717	—	—	153,717
負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,322,336	—	—	1,322,336

5. (要約)四半期個別損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 四 半 期	前 四 半 期	増 減	前 期
	自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日		自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日
営 業 収 益	172,332	173,837	△1,505	233,070
営 業 費	145,692	145,592	99	197,195
営 業 利 益	26,640	28,245	△1,604	35,874
営 業 外 収 益	7,139	9,568	△2,428	10,697
営 業 外 費 用	14,180	13,625	554	18,274
経 常 利 益	19,599	24,187	△4,587	28,297
特 別 利 益	8,793	20,111	△11,318	24,734
特 別 損 失	16,097	19,216	△3,118	23,520
税引前四半期(当期)純利益	12,295	25,082	△12,787	29,510
法人税、住民税及び事業税	6,322	17,151	△10,829	19,097
過 年 度 法 人 税 等	364	—	364	—
法 人 税 等 調 整 額	△1,976	△4,167	2,191	△2,146
計	4,709	12,983	△8,274	16,951
四半期(当期)純利益	7,585	12,098	△4,513	12,559

6. 鉄道旅客収入及び旅客人員表

		当 四 半 期	前 四 半 期	増減率
		自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 12 月 31 日	自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 12 月 31 日	
旅 客 収 入	定 期 外	59,045 百万円	58,496 百万円	0.9 %
	定 期	49,676 百万円	49,693 百万円	△0.0 %
	合 計	108,721 百万円	108,190 百万円	0.5 %
旅 客 人 員	定 期 外	221,300 千人	219,715 千人	0.7 %
	定 期	427,965 千人	428,397 千人	△0.1 %
	合 計	649,265 千人	648,112 千人	0.2 %

※ 定期外旅客収入は、急行料金を含んでおります。

※ 旅客人員は単位未満端数四捨五入で表示しております。